

障がい者福祉施設との連携による 地域資源循環ネットワークの構築活動 「なごやハートステーションPROJECT」

活動地域 東海

ひろげる助成

3年目

実践

羽毛製品手数料 19,430円/施設/年

リユース品手数料 5,500円/施設/年

今年度計画の達成度 60%

全体計画の達成度 60%



プロジェクトPR動画(企業編)のひとコマ

課題

羽毛製品やリユース可能品の多くはごみとして焼却処理されている。また、愛知県内の就労継続支援事業所では、就労機会の増加と工賃の向上が求められている。

目標

多くの人がハートステーションを利用し、羽毛製品・リユース可能品がリサイクル・リユースされ、それが障がい者の工賃向上とノーマライゼーションに貢献する社会を創る。

活動内容と成果

- ハートステーション3か所において、羽毛製品とリユース可能品の回収を行った
- プロジェクトのPR動画(企業編・1本)とウェブサイト上の企業向けページを制作した。また、Instagramで定期的に情報を発信した
- アパレル商社やスポーツ用品チェーンから定期的に寄付を受け付けチャリティショップでリユースしたり、リサイクルをした
- 名古屋市内の環境イベント・福祉イベント・SDGsイベントに出店し、広報活動を行った



プロジェクトPR動画(企業編)のひとコマ

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

新型コロナウイルス禍で障がい者福祉団体を訪問することが難しくなった。PR動画に企業の職員の方にご出演いただく際の事前説明や調整が難しかった。

工夫した点

他の企業の方々にも気軽にプロジェクトに参加していただけるよう、シンプルで分かりやすい動画制作を心掛けた。



プロジェクトPR動画(企業編)のひとコマ

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルス禍が続く、ハートステーションを名古屋市全域に拡大することはできなかったが、PR活動等は予定通り実施することができた。その結果、企業との連携は想定以上に進んだ。SDGsの盛り上がりもあり、これまでは実施困難だったサンプル品、軽欠陥品の寄付や、従業員から募った寄付品等も提供いただける社会状況になってきていると感じた。

〒461-0002

愛知県名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル5F

電話：052-982-9079

HP：https://nagoya-heartstation.jp/



今後の展望

企業との連携については、今後も継続・拡大できる見込みがあると考えている。また、他地域でもこのようなプロジェクトを行いたいという要望も聞いており、横展開も模索したい。今後もプロジェクトを担う3団体が持続可能な形で連携し、活動を継続していきたい。

